

「基礎能力検査（全学部共通）」の例題

受験にあたっては、以下の例題を参考としてください。本試験では、この例題の難易度と同程度、またはやや易しい問題を出題する予定です。

■ 次の 10 問すべてに答えなさい。計算は計算用紙を使用すること。

(1) 18 歳人口のうち大学生になった人の数の割合を大学進学率だとすると、2018 年には 18 歳人口 120 万人、進学率 50%、1970 年には 18 歳人口 200 万人、進学率 20% だとした場合、2018 年の大学生数は 1970 年の大学生数の何倍となるか。

[] 倍

(2) 75 歳以上の後期高齢者の A さん、B さん、C さん、D さんの金融資産を比較すると、A さんは B さんの 5 分の 4、B さんは C さんの 6 分の 5、C さんは D さんの 10 分の 9 であった。A さんの金融資産は D さんの金融資産の何分の何となるか。

[分の]

(3) 市民の所得には税金がかかる。A さんの年収には課税されない金額があり、それを差し引いた課税所得に課税される。その税額を算出する式は、税務署によれば「課税所得 \times 0.23 - 636,000 円」となっている。課税されない金額が 85 万円、税額が 1,204,000 円だったとすると、A さんの年収はいくらか。

[] 円

(4) 日本の人口は約 1 億 2500 万人である。高齢化が進み 65 歳以上の高齢者は総人口の 27%、少子化も進み 15 歳未満の子どもは総人口の 13% になっている。高齢者人口と子ども人口の合計を非生産人口、それ以外を生産人口とよぶが、非生産人口は生産人口の何% になるか。小数点以下切り捨てで答えよ。

[] %

(5) ある大学の入学者の女子学生と男子学生の比率は 3 対 7 である。その大学の L 学部の入学者は入学者全体の 20 パーセントいるが、その女子学生と男子学生の比率は 3 対 2 である。L 学部の男子学生が 120 人だとすれば、その大学に入学した女子学生は全員で何人いるか。

[] 人

(6) 次の文章の空欄に入る適切な用語を語群から選び空欄に記入しなさい。

子どものスマホ依存防止は社会にとって [] の課題である。スマホを使用するゲームアプリや交流サイトの長時間利用による健康への [] が強まっている。[] な結果をもたらしかねない社会問題として対策を急がねばならない。

語群：喫緊 永遠 強化 矮小 懸念 耐性 深刻 慎重 多彩

(7) 次の文章の空欄に入る適切な用語を語群から選び解答欄に記入しなさい。

世界はこれからどうなっていくのか。明日を生きるための [] が求められているのだ。それをもとに現在の混乱した世界から脱出する [] を示すシナリオを描かなければならない。現在はまさに種々の [] に脅かされており、ここを乗り越えなければ破局に向かうことになるだろう。

語群： 悲運 中毒 危機 構想 幻想 夢想 方向 入口 難路 均衡

(8) 次の文章の空欄に入る適切な用語を語群から選び解答欄に記入しなさい。

インターネットやAIが急速に進歩する今日、未来がどうなるか [] がつきにくくなっている。もはや大人の知恵だけでは対応できない。変化に適応する [] をもった知恵はむしろ子どもが持っている。大人が子どもと対等に [] し学ばなければならないだろう。

語群： 柔軟性 一過性 徹底性 想像 認識 断定 対話 発見 希望

(9) 以下の5つの文を意味が通るように並べ替え、その順にA～Eを空欄に記入せよ。

- A したがって担当教員は自らの専門分野に基づき、授業を運営している。
- B そして21世紀になると、共通基礎科目の必修科目として新たに世界市民科目を設け、すべての専任教員が交替で担当することになった。
- C もちろん世界市民を教育理念に掲げる大学は桃山学院大学だけではない。
- D そのため学生は世界市民科目を必ず履修するが、その選択幅は大きい。
- E しかし桃山学院大学は先駆的に半世紀にわたって建学の理念として世界市民の育成をかかげてきた。

[] → [] → [] → [] → []

(10) 以下の5つの文を意味が通るように並べ替え、その順にA～Eを空欄に記入せよ。

- A さらに団塊世代は巨大な消費者群としても高度産業化を支えもしたのである。
- B 団塊世代は、1947年から49年の3年間に誕生した約800万人（現在、約660万人が生存）の日本人である。
- C すなわち戦後日本の産業化の進展の中で、団塊の世代は高度産業化の推進主体となった。
- D その団塊世代の社会的役割が大きいことは、団塊世代論が強調してきた点である。
- E 現在でも団塊世代は、生産・労働者として、投資家として、また消費者として期待されている。

[] → [] → [] → [] → []

「基礎能力検査（全学部共通）」の解答

(1) [1.5] 倍

(2) [5分の3]

(3) [885万] 円

(4) [66] %

(5) [450] 人

(6) 子どものスマホ依存防止は社会にとって [喫緊] の課題である。スマホを使用するゲームアプリや交流サイトの長時間利用による健康への [懸念] が強まっている。[深刻] な結果をもたらしかねない社会問題として対策を急がねばならない。

(7) 世界はこれからどうなっていくのか。明日を生きるための [構想] が求められているのだ。それをもとに現在の混乱した世界から脱出する [方向] を示すシナリオを描かなければならない。現在はまさに種々の [危機] に脅かされており、ここを乗り切らなければ破局に向かうことになるだろう。

(8) インターネットやAIが急速に進歩する今日、未来がどうなるか [想像] がつきにくくなっている。もはや大人の知恵だけでは対応できない。変化に適応する [柔軟性] をもった知恵はむしろ子どもが持っている。大人が子どもと対等に [対話] し学ばなければならないだろう。

(9) [C] → [E] → [B] → [A] → [D]

(10) [B] → [D] → [C] → [A] → [E]